



MJS AI 監査支援™

導入事例と便利な機能のご紹介

「MJS AI監査支援」導入で、所内の業務効率アップと職員の業務レベルアップに!

旭日税理士法人様の導入事例

導入の背景 業務の効率化・業務レベルの標準化を模索

- 記帳代行に時間が掛かっていた
- 自計化を促進しているものの、顧問先によっては記帳代行が必要な顧問先もあり、業務効率化をしたかった
- 顧問先に求められているニーズにこたえる時間を増やしたい
- 入力者によって入力のデータ完成度のレベルがまちまちなので、標準化を図りたかった

導入の効果 業務効率アップ・職員の業務レベルアップにつながっている

- 【ミスの未然防止につながっている】
 - 入力者から上長、所長へと確認フローを取っていますが、入力者の時点でチェックを掛けられることでデータの精度があがった。特に消費税区分(8%、軽減8%、10%)の間違いが減った。
- 【入力者の方の安心感】
 - 記帳代行の入力をメインで行う職員がチェック機能があることで、入力時にあった不安が軽減された
- 【職員の業務レベルアップにもつながっている】
 - 監査後の結果を確認、修正しているうちに次回以降に気を付ける点が整理できる。

【チェック効率がアップした】

顧問先のモデルになる会社で監査ルールを作成し、AI監査のルールとして利用している。そのことで、AI監査でのチェック機能が事務所のチェック事項と合致してきた。

導入のポイント AIにもともと興味があった

チェック機能があることで、入力後のチェック業務の負担を減らせるのではと考えた。
また、価格が安かったこと、一社毎にAI監査の採用ができるので、導入しやすいことが決め手となった。

今後の展開 今後、AI監査支援に期待すること

- 監査ルールを業種・売上規模・資本金規模に応じてフォーマットが数種類あると便利になると思う
- AI監査側で、チェック修正まで行えるようにしてほしい。
- 仕訳重複チェックでのAIの精度がもっと上がることに期待。
- データチェック後に確認をしたもの、修正が必要で修正をした結果リストとなるものがあると便利になると思う
- 部門別チェックなど、機能に拡張性が増えると嬉しい
- 各メニューの名称がもっと簡単な名称になると便利になるのでは。

旭日税理士法人様 法人概要

本社：宮城県仙台市
拠点：原町本社、東口サテライトオフィス、東京事務所
人員構成：総人数 30名
【税理士】7名 / 【社会保険労務士】2名
【1級ファイナンシャル・プランニング技能士】1名
【ファイナンシャルプランナー(AFP)】5名
【M&Aスペシャリスト】1名 / 【税理士科目合格者】5名

便利な機能内容

月次残高チェックの設定が便利です

【著増減チェック】

・比率(%)だけでなく、金額(円)を指定してチェックできます。

- ・著増減のチェック時に、残高のチェック、発生額チェックを行います。また、期首残との比較もできます。
- ・発生がない(入力漏れ)または残高が0円になっていない(消込漏れ)などをチェックできます。(例：決算月の棚卸や貯蔵品、毎月の水道光熱費など)

【月次残高ルール設定】

・月次残高ルールを複数パターンで作成できます。これにより、年度末にのみチェックする科目などを別パターンで管理することが可能です。

(例：期中は前月とチェックし、決算時は前年とチェックのようにパターン化が可能)

監査対象月の指定を複数月指定できます

単月ごとの監査実行のみならず、対象月を複数指定して監査実行することもできます。

【複数月選択】

5種類の監査を一括で実行できます

以下の5つの監査を一括で実行できます。

- 「著増減監査実行」
- 「マイナス残高監査実行」
- 「仕訳明細監査実行」
- 「仕訳重複監査実行」
- 「消費税区分監査実行」

新機能「監査報告資料」を搭載しました。(3月22日リリース)

- 監査報告資料 Excel 出力に対応します。
→ 監査業務の価値を高める資料としてご利用になれます。
- 顧問先または所内入力担当者への取引内容確認および仕訳修正指示ができるように対応します。
→ 監査結果出力の仕訳明細チェックに簡易リストを追加します。簡易リストは、そのまま印刷できるレイアウトとします。

新機能についてはセミナーで詳しくご説明いたします。

4月13日(火)開催 お申し込みはこちら→

